


令和6年度指定管理者運営状況検証シート

1 施設名等

令和7年3月31日現在

| | | | |
|----------------|--|-------------|---|
| 施設名 (設置年月日) | 愛媛県民文化会館 昭和61年4月13日(別館開設平成18年7月16日) | 所在地 電話番号 | 愛媛県松山市道後町二丁目5番1号 089-923-5111 https://www.kenbun.jp/ |
| 県所管課 | 観光スポーツ文化部文化局文化振興課 | 指定管理者の名称 | えひめ文化振興コンソーシアム |
| 指定期間 | 令和6年4月1日～令和11年3月31日(5年間) | 利用料金制 | ○ あり なし |

2 施設の概要と指定管理者が行う業務等

| | | |
|------------|--|---|
| 設置目的 | 県民の文化の振興を図るため、各種の行事又は集会の用に供する。 | 施設の外観 |
| 施設内容 | メインホール(2,725席)、サブホール(912席)、多目的ホール(真珠の間)、リハーサル室(4室)、楽屋(27室)、会議室(9室)、別館会議室(11室)、駐車場(本館303台、別館15台) |  |
| 指定管理者が行う業務 | ①会館の事業の実施に関する業務 ②会館の利用の許可に関する業務 ③会館の利用に係る料金の収受に関する業務 ④会館の利用の促進に関する業務 ⑤会館の施設、附属設備及び備品の維持管理に関する業務 ⑥その他知事が定める業務 | |
| 施設の管理体制 | <div><div>えひめ文化振興コンソーシアム</div><div><div><div>公益財団法人愛媛県文化振興財団</div><div>理事長</div><div>事務局長(正規)</div></div><div><div>(総務事業部)</div><div>部長(正規)</div><div>担当(正規2、県派遣2、臨時2)</div></div><div><div>(施設管理部)</div><div>部長(正規)</div><div>担当(正規6、再雇用1、臨時3、人材派遣2)</div></div></div><div><div>株式会社エス・ピー・シー</div><div>部長(正規、本社勤務)</div><div>(事業開発部)</div><div>担当(正規10、うち本社勤務8)</div></div></div> | |

3 検証のための指標の推移

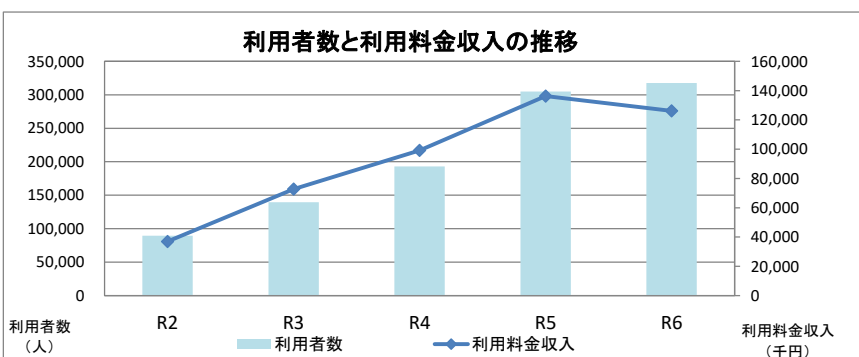
(1) 利用者数

| 年 度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|--------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 年間利用者数 | 89,430 人 | 139,400 人 | 193,000 人 | 304,940 人 | 317,617 人 |

(2) 収支状況

| 年 度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|-------------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 収 入 (A) | 286,665 千円 | 330,022 千円 | 378,265 千円 | 368,092 千円 | 599,745 千円 |
| 委 託 料 | 142,909 千円 | 153,473 千円 | 162,230 千円 | 224,219 千円 | 410,271 千円 |
| 委託料(補正額)※ | 105,414 千円 | 102,407 千円 | 110,255 千円 | 0 千円 | 0 千円 |
| 利用料金収入 | 36,997 千円 | 72,675 千円 | 99,208 千円 | 136,267 千円 | 126,105 千円 |
| その他収入 | 1,345 千円 | 1,467 千円 | 6,572 千円 | 7,606 千円 | 63,369 千円 |
| 支 出 (B) | 286,665 千円 | 330,022 千円 | 378,265 千円 | 368,092 千円 | 599,745 千円 |
| 事業費 | 5,239 千円 | 4,492 千円 | 12,091 千円 | 6,336 千円 | 35,482 千円 |
| 維持管理費 | 149,752 千円 | 175,786 千円 | 205,745 千円 | 179,625 千円 | 350,738 千円 |
| 人件費 | 77,626 千円 | 86,021 千円 | 86,228 千円 | 90,998 千円 | 119,011 千円 |
| その他支出 | 54,048 千円 | 63,723 千円 | 74,201 千円 | 91,133 千円 | 94,514 千円 |
| 収 入 (A) - 支 出 (B) | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 |

(※)新型コロナウイルスの影響等により、補正予算で増額した委託料を記載



(※2) 収支状況に大きく影響を及ぼした要因があった場合、その内容

新規自主企画による集客や宴会受注再開などにより利用者は増加したが、利用料金収入は、全国大会規模の催事が14件42日と多かった5年度に比べ6年度は8件22日と減少したこと、さらにメインホール音響設備改修工事による1か月間のホール閉鎖があったことから、減少した。5年度はコロナ明けを待っていた大規模催事が一気に実施されたのに対し、コロナ明けから計画し始めた大規模催事が6年度開催に間に合わなかったことが要因と考えられる。

※委託料には設備改修等経費を含む(R6:182,709千円)。

4 管理運営の評価

(1) 提供サービスや利便性の向上のための取組み

| 指定管理者の自己検証 | | 県施設所管課の検証 | |
|---|--|--|-----|
| ○利用申込書を簡素化したり、キャッシュレス決済を導入するなどし、利用者の利便性向上に努めた。 ○車椅子や子供に配慮したユニバーサル自販機や災害支援型自販機を導入し、多目的に利用できるようにした。 ○ホームページを全面リニューアルし整理することで利用者が必要な情報にアクセスしやすくなった。 ○ロビーでの無料無線 LAN サービスのほか、県民広場を大規模催事の駐輪場として解放したり、休館日・年末年始のホール利用を受け付けたりするなど、利用者の要望に応えている。 | | 利用者アンケート等で寄せられた要望を踏まえ、利用手続の改善等に着実に取り組んでいる。 令和6年度から営業や予約調整を行う部署を新設したことで、催事主催者のリアルな声を積極的に聞き取り、また松山観光コンベンション協会との連携強化でタイムリーにMICE関連情報を得られるようになったことから、利用者目線のサービス向上に一層力を入れて取り組んでいることは評価できる。 令和6年度からコンソーシアム体制になったことで、長年培ってきた施設の管理運営ノウハウと、新しいサービス提供の視点がうまく相乗効果を生み出している。 | 評 価 |
| | | | S |

(2) 施設の適正な維持管理のための取組み

| 指定管理者の自己検証 | | 県施設所管課の検証 | |
|---|--|---|-----|
| ○各専門委託業者等と連携し、館内外の清掃・警備・保守点検を実施し、適正な施設維持管理に努めた。 ○老朽化していたメインホール舞台音響入力系設備の改修、別館トイレ改修、真珠の間用机・椅子・仮設舞台等備品の更新など、施設機能維持のための修繕・更新を行った。 ○その他、開館後39年を経過し老朽化が激しいため、日々発生する故障等に迅速に対応し、催事への支障が最小限となるよう適切に修繕を実施した。 | | 老朽化のため故障や修繕に対する対応が必要な状況であるが、不具合発生時の報告や修繕を適時行い、予算の範囲内で施設の維持管理が適切に行われるよう努めている。 館内には老朽化に伴う大小多くの修繕等必要箇所があるため、施設を維持管理する指定管理者の視点で、中長期的な観点から優先順位をつけ修繕対応や予算化の提案が行われることを期待する。 | 評 価 |
| | | | A |

(3) 利用者からの評価と、意見を反映させるための取組み

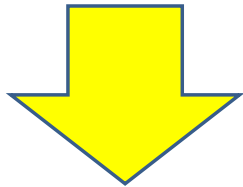
| 指定管理者の自己検証 | | 県施設所管課の検証 | |
|---|--|--|-----|
| ○外部委員による運営委員会を開催し外部の意見聴取をしたほか、令和5年度利用者（主催者）496件に対しアンケート調査を実施し（回答数185件）、概ね良好な評価をいただいた（「まあまあだった」以上が99%）。また、ホームページのお問い合わせフォームや目安箱を設置し利用者の生の意見を取り入れるようにしている。 ○楽屋周りのトイレのウォシュレット化や老朽化している展示用机など改善要望の多い案件についても、早期更新に向け引き続き県所管課と予算化の協議をしていきたい。 | | 会館利用者へのアンケート調査の実施や外部委員からの意見聴取を行い、要望の多いものは予算化の提案を行うなど、会館運営への反映に努めていることは評価できる。 | 評 価 |
| | | | A |

(4) 施設関連情報の発信のための取組み

| 指定管理者の自己検証 | | 県施設所管課の検証 | |
|--|--|--|-----|
| ○Instagram、noteなどのSNSを活用し施設関連情報やコンソーシアム事業などを積極的に発信している。また、ホームページのオリジナルドメイン（kenbun.jp）を取得したほか、会議室の利用促進を図るため、情報を充実させた上でSEO対策を行うなどしてホームページのアップデートを行った。 ○文化情報紙「ケンブンジャーナル」を発行、「タウン情報まつやま」に毎月「ケンブンニュース」を連載するなど、自ら文化を発信する会館として戦略的なPRを実施し、ケンブンを利用しなくなる付加価値の増加に努めた。 ○ステーキホルダーや施設運営パートナー宛てにビジネスメールを配信し、空き日程やあまり知られていない情報などを発信して利用促進を図った。 | | ホームページやSNS、雑誌、月1マルシェイベント（リアル）などを通して、若い世代にも訴求するデザイン性も強く意識しながら、イベント情報の案内だけではなく会館自体の魅力のPRに積極的に取り組んでいる。 営業を通して得たステーキホルダーとの繋がりを無駄にせず、ビジネスメールの配信などで情報発信をこまめに行っていることも評価できる。 今後も、コロナ禍を経て多様化した利用者のニーズを捉えながら、より一層利用者増・収入増につながる広報・PR活動が積極的に行われることを期待する。 | 評 価 |
| | | | S |

【評価基準】

- S・・・仕様書等で示した基準以上の顕著な成果が挙げられており、指定管理者制度導入の効果が特に認められるもの
A・・・仕様書等で示した基準以上の成果が挙げられており、指定管理者制度導入の効果が認められるもの
B・・・仕様書等で示した基準と同程度の成果が挙げられているもの
C・・・仕様書等で示した基準をおおむね満たしているが、一部工夫や改善を期待するもの



(5) 指定管理者制度の導入による効果と課題の検証

| 県施設所管課の総括 | |
|--|--|
| コロナ禍以降、大規模な会館に期待される利用者のニーズが多様化する中で、まずはコロナ前のレベルまで利用者数を回復させるという課題に取り組んでいた。令和6年度は、新たにコンソーシアム体制となったことで、(公財)愛媛県文化振興財団が長年培ってきた管理運営のノウハウに、企画広報を得意とする(株)エス・ビー・シーの新たな視点と手法が加わって、より多くの方々に利用していただくための新しい県民文化会館の基礎作りを行うことができた。 指定管理者がもつノウハウや繋がりを活用して、様々な媒体を活用した広報や、積極的な営業、柔軟な窓口対応を強化しており、利用者増に向けたその機動力は、指定管理者制度導入の効果と言える。 引き続き、利用者・利用料金収入増に向けて、また県民文化会館の魅力向上に向けて、現指定管理者の経験と特性を活かした管理運営を期待する。 | |